

アカデミアの ほっと一息



～教授室だより～

【アカデミーでの業務】

昨年4月に仙台市から市町村アカデミーに派遣赴任となり、早くも2年目を迎えました。

派遣が決まってからは、アカデミーでは一体何をすればよいのか全然わからず不安に駆られました。新任派遣職員研修や、先輩教授が担当する研修をひととおり経験することで、研修業務全体の流れも見えてきて安心できました。

初めて担当した研修「人権を尊重した地域社会の形成」ではさすがに緊張したものの、最終日の挨拶では、涙が出そうになるくらいの感動を覚えた記憶があります。

以後、研修業務は、とりわけ9日間や11日間の長期研修中は大変ですが、終了後の遣り甲斐と達成感は病みつきになることに違いありません。



私自身、これまでの30年近い役所人生の中で、最高の講師陣を迎えた最高レベルの研修を拝聴しつつ、素晴らしい環境の中での充実したアカデミー業務は、役所人生最後のご褒美でもあってと思います。

【幕張での生活】

急きょ単身赴任となり、まさかこの年齢で大学以来の関東での一人暮らしとなるとは思ってもやらず不安でしたが、楽しみの方が大きかったように思います。

故郷仙台からライブやイベント等でよく訪れていた幕張メッセが、まさかの徒歩圏内で足を運ぶことができ、聖地秋葉原にも総武線一本の約40分で訪れることができる現実が、私にとってはまるで夢のような環境といえます。そのお陰もあり？アカデミーに赴くまでは坂道グループのファンだっ



た私が、現在は約十年超しで48のファンに返り咲いている今日です。

本来であれば、35年以上の趣味である大型バイクも持ち込んで、ツーリングのメッカとして評判の房総半島を走り回りたい気持ちも山々なのですが、なかなかそこまで手が回らないくらい、日々のプライベートも充実している今日この頃です。

まさしく、アカデミーに来なければ一生実現できなかった最後の樂園とでも言えるでしょうか。派遣の打診があり、二つ返事でお引き受けしたことは間違いではなく、できればもっと若いうちに赴任したかったという想いで一杯です。

【締め】

現在、公私ともに充実している環境の中で、月に一度は仙台に帰郷し家族と過ごしながらか、アカデミー業務に邁進している真っ只中です。仙台市からの初派遣という立場でもあることから、後任者にも繋げられるよう、しっかりと爪痕を残しつつ、成果をあげていきたいと思っております。



そのような中で、私を選んで派遣していただいた仙台市、暖かく迎え入れてくださったアカデミー及び財団の皆様、心より感謝を申し上げますとともに、アカデミーで得た知識や人脈、経験を派遣元に持ち帰り活かせるよう、残りの期間も全力で業務に邁進してまいります。

〈アカデミア担当職員からひとこと〉

私もこの4月からアカデミーに出向しております。お互い頑張りましょう！仙台は牛タンやずんだなど、おいしいものがたくさんありますね。幕張メッセでは、様々なイベントも開催されていますので、残りの幕張ライフをぜひエンジョイしてください！

